

SA3-RC2-SR/REX-35RU2-S セットアップガイド

2013年3月 第2.0版

RATOC Systems, Inc.



※本文中の画面例は、Windows 8です。その他OSでは画面が若干異なりますのでご了承ください。
※記載している内容は、本紙制作時のものです。フォルダ名、ファイル名、画面などが変更されている
場合があります。ご了承ください。

※本紙ではハードディスクをHDDと略することがあります。ご了承ください。

セットアップの流れ



1. 設置・接続手順



取り付け時、鋭い部分で手を切らないように、十分注意して作業をおこなってください。ケーブル接続の際は、コネクタの形状や向きを間違えないようご注意ください。

1 RAIDユニット本体をパソコンに取り付けます

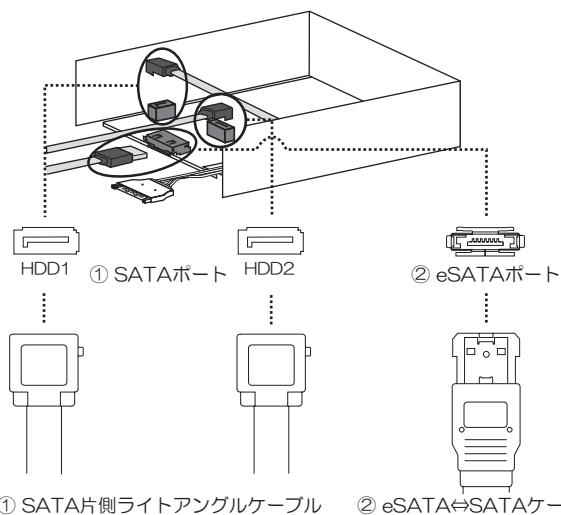
1. パソコンの電源が切れていることをご確認ください。

2. RAIDユニット本体にSATAケーブルを接続します。

① 各SATAポートにSATAケーブルを接続します。

② eSATAポートにeSATA⇄SATAケーブルを接続します。

※本製品はSATA3.0規格には対応しておりません。6G対応のSATAポートには接続しないでください。



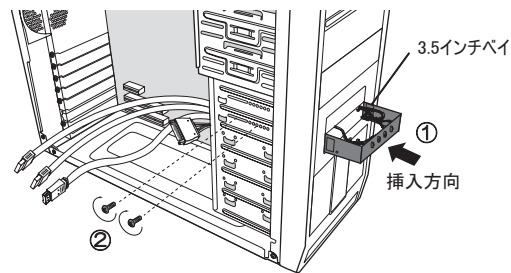
① SATA片側ライトアングルケーブル ② eSATA⇄SATAケーブル

RAIDユニット本体をパソコンに取り付ける前に、各ケーブルを接続すると、パソコンに取り付けた後に接続するよりも簡単に作業がおこなえます。

3. RAIDユニット本体を3.5インチベイに取り付けます。

① 3.5インチベイのパネルをはずし、RAIDユニット本体を挿入します。

② RAIDユニット取付用ネジで、両側面とも止めます。

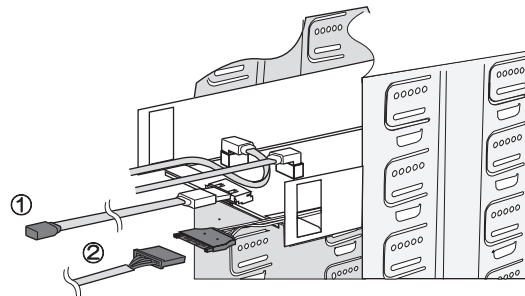


4. RAIDユニット本体の各ケーブルを接続します。

① eSATA⇄SATAケーブルをSATAインターフェイスに接続します。

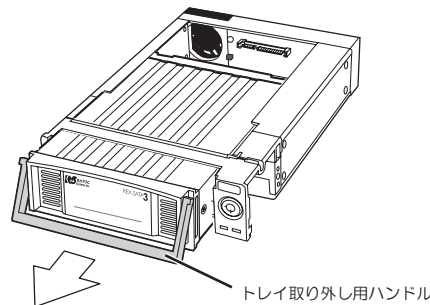
② SATA電源ケーブルを電源に接続します。

※他の機器を接続していない電源ケーブルをご使用ください。



2 トレイをケース本体からはずします

1. トレイ取り外し用ハンドルを手前に引いて、本体からトレイを抜き出します。



トレイの取り扱いについて

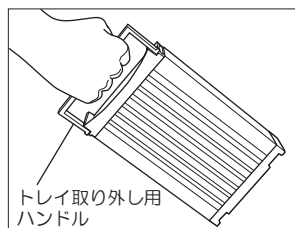
●トレイに内蔵するハードディスクは、衝撃にきわめて弱いものです。トレイの取扱いは十分ご注意ください。

✕ 間違った持ち方

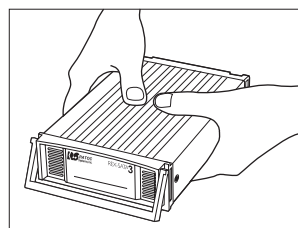
トレイ取り外し用ハンドルが外れたり、破損する可能性があります。

○ 正しい持ち方

トレイを誤って落下しないよう、本体をしっかり支え、慎重に扱ってください。



トレイ取り外し用ハンドル



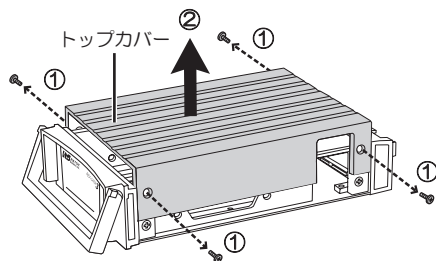
「トレイ取り外し用ハンドルはトレイをSATAリムーバブルケースから引き出すために設けられたもので、手さげ用に使うことはできません。」

●取り付け作業中および使用中に生じたパソコンあるいはハードディスクの破損や故障、データ消失に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

3 内蔵ハードディスクをトレイに取り付けます

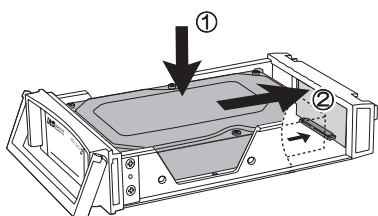
1. トレイのトップカバーを取り外します。

- ① トレイの4箇所のネジを外します。
 - ② トップカバーを矢印の方向に外します。
- ※トレイ内の添付品はすべて取り出してください。



2. トレイにハードディスクを装着します。

- ① ハードディスクをトレイに入れます。
- ② ハードディスクをスライドさせて、トレイのコネクタに接続します。

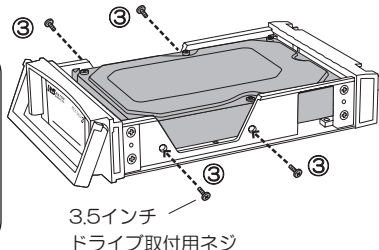


- ③ ハードディスクをしっかりとネジで止めます。

3.5インチハードディスクの場合

注意

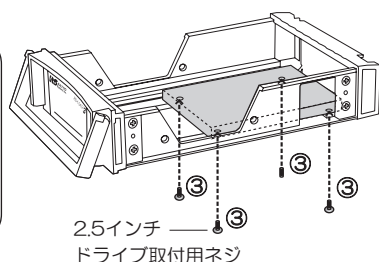
必ず3.5インチハードディスク用ネジで固定してください。ハードディスクの重さによりSATAシグナル/電源一体型コネクタが破損することがあります。



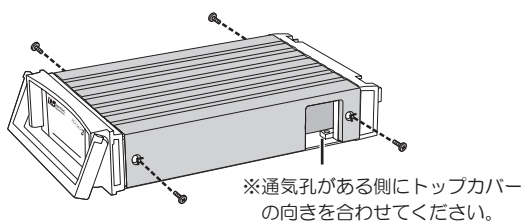
2.5インチハードディスク、SSDの場合

注意

重量の軽いSSDなどを装着した場合、トレイの底面に対して斜めに浮く場合があります。浮いた部分を押し下げて底面からしっかりネジで止めてください。



3. トレイのトップカバーを元の位置に戻し、ネジで止めます。

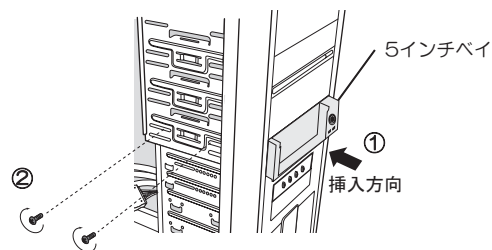


👉 トレイからハードディスクやSSDを取り外すときは、フロントパネル側にスライドさせてコネクタが外れたことを確認後、取り外してください。

4 ケース本体をパソコンに取り付けます

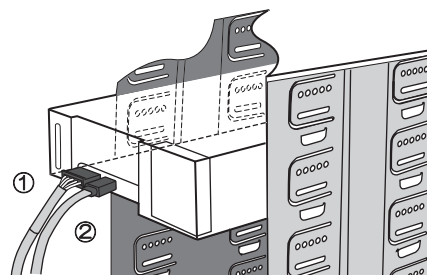
1. ケース本体を5インチベイに取り付けます。

- ① 5インチベイのパネルをはずし、ケース本体を挿入します。
 - ② ケース本体取付用ネジで、両側面とも止めます。
- ※ネジは強く締めすぎないようにご注意ください。

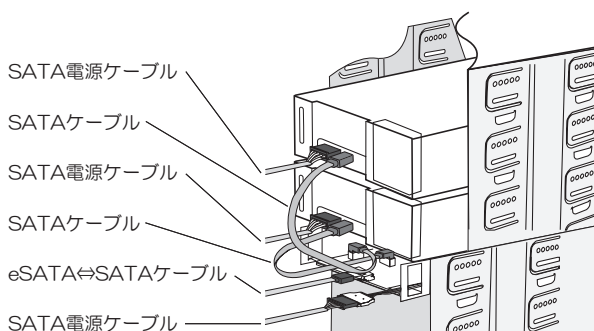


2. ケース本体に各ケーブルを接続します。

- ① SATA電源ケーブルを接続します。
※他の機器を接続していない電源ケーブルをご使用ください。
- ② RAIDユニット本体のSATAケーブルを接続します。
※ラッチ付SATAケーブルを抜く際は、必ずラッチを押さえてください。
ラッチを押さず無理に抜くとコネクタを破損する恐れがあります。
※コネクタは逆挿ししないよう十分ご注意ください。

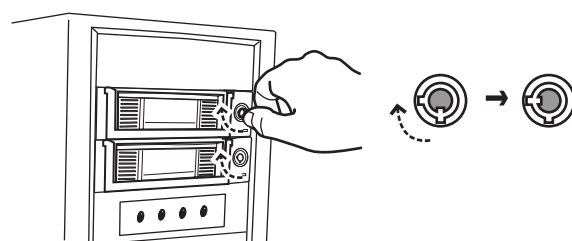


3. すべての配線が完了すると、以下のようになります。



5 ケース本体にトレイを装着します

1. ケース本体にトレイを挿入します。
2. ロックキーを少し押し込み時計まわりに回し、トレイをロックします。



以上で、設置・接続手順は終了です。👉 **2. パソコン電源の投入** へ進んでください。

2. パソコン電源の投入

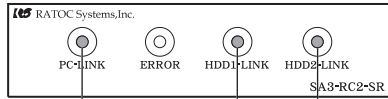
ハードディスクが認識されます

1. パソコンの電源を入れます。



2. PC-LINK LED、HDD1-LINK LED、HDD2-LINK LED、各ケース本体のパワーLEDが点灯しているかご確認ください。

RAIDユニット本体

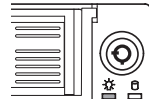


PC-LINK LED(橙)
パソコンの電源ON時点灯

HDD1-LINK LED(緑)
HDDとリンク時点灯

HDD2-LINK LED(緑)
HDDとリンク時点灯

ケース本体



パワーLED(緑)
トレイ通電時点灯

※PC-LINK LED、HDD1-LINK LED、HDD2-LINK LEDが点灯しない場合、接続ケーブルが正しく接続されているか、もう一度ご確認ください。
※ご使用のSATAインターフェイスがポートマルチプライヤーに対応していない場合、HDD2-LINK LEDは点灯しません。
※ケース本体のキースイッチがロックされていない場合、トレイに通電(ハードディスクにアクセス)されません。

以上で、パソコンの電源投入は終了です。 **3. インストール** へ進んでください。

3. インストール

本製品を使用する場合、必ずインストールしてください。

RAIDマネージャーをインストールします

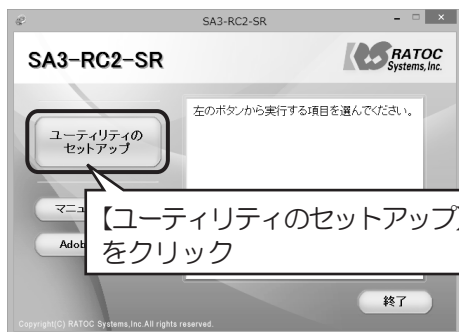
1. パソコンを起動します。
※Administrator(管理者)権限でログインします。



2. 製品添付のCDをパソコンのCDドライブに挿入します。



3. メニュー画面が表示されます。

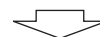


自動的に表示されない場合は、【コンピューター(またはマイコンピュータ)】の【CDドライブ】を開き、【autorun.exe】をダブルクリックしてください。Windows 7/Vistaの場合、「自動再生」画面が表示されたら、【autorun.exeの実行】をクリックしてください。また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、【はい】または【許可】をクリックしてください。

4. セットアップ画面が表示されます。



5. インストール開始の確認画面が表示されます。



6. 【完了】をクリックします。

以上で、インストールは終了です。 **4. RAIDモードの設定** へ進んでください。

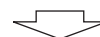
4. RAIDモードの設定

RAIDマネージャーを起動します

1. デスクトップのショートカットまたは、【すべてのアプリ】(7以前のOSでは【すべてのプログラム】)→【RATOC SA3-RC2-SR】→【RAIDマネージャ】を起動します。



2. 接続しているハードディスクの型番が表示されていることを確認します。



👉 RAIDマネージャーにハードディスクの型番が表示されない場合は、以下をご確認ください。

確認1

RAIDユニット本体、ケース本体の各LEDが正しく点灯していることをご確認ください。**2. パソコン電源の投入** をご参照ください。

確認2

SATAインターフェイスとハードディスクを直接接続して（本製品を経由しないで）、認識するかご確認ください。認識する場合は、本製品が故障している可能性があります。別紙「**5**-2.修理について」をご参照ください。



3. RAIDマネージャーにてRAIDを構築します。
手順は、RAIDマネージャーのヘルプ「**2**」導入・基本編：簡単！RAIDモード作成手順」をご参照ください。



4. OS標準のディスクの管理にて、ハードディスクのフォーマットをおこないます。
手順は、RAIDマネージャーのヘルプ「**2**」導入・基本編：フォーマット手順」をご参照ください。



5. RAIDマネージャーはディスクが故障した際、電子メールで通知することができます。
必要な場合は、RAIDマネージャーのヘルプ「**2**」導入・基本編：電子メール通知設定手順」を参照し設定します。
※送信認証のないメールサーバーには対応していません。
※インターネットプロバイダーが提供しているメールサーバーでは送信できない場合があります。



以上で、本製品を使用することができます。

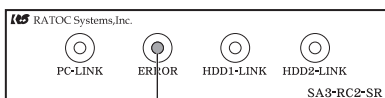
RAIDディスク異常時の対応

ディスクが故障した場合、故障したディスクのアクセスLEDが点灯、RAIDユニット本体のERROR LEDが点滅します。

故障ディスクは、早急に新しいディスクに交換してください。

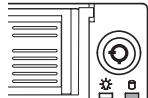
手順はRAIDマネージャーのヘルプ「**3**」RAIDディスク異常時の対応」をご参照ください。

RAIDユニット本体



ERROR LED (赤) が点滅

ケース本体



アクセスLED (赤) が点灯

※ハードディスクを交換する場合は、パソコンの電源を切ってから交換してください。
破損ディスクの交換は、電源が入ったままで交換が可能です。

アンインストール

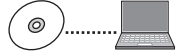
※本製品を削除する必要がある場合のみ、実行してください。

以下のようにユーティリティを使って、RAIDマネージャーをアンインストールします。

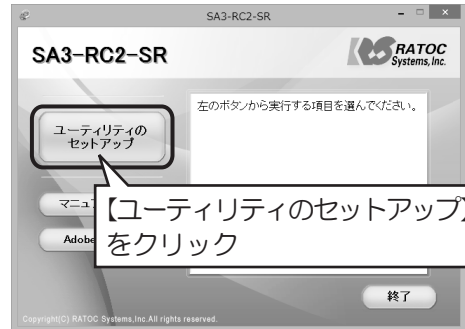
1. パソコンを起動します。
※Administrator(管理者)権限でログインします。



2. 製品添付のCDをパソコンのCDドライブに挿入します。



3. メニュー画面が表示されます。



👉 自動的に表示されない場合は、【コンピューター(またはマイコンピュータ)】の【CDドライブ】を開き、【autorun.exe】をダブルクリックしてください。Windows 7/Vistaの場合、「自動再生」画面が表示されたら、【autorun.exeの実行】をクリックしてください。また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、【はい】または【許可】をクリックしてください。



4. 確認画面が表示されます。
【削除】を選択し、【次へ】をクリックしてください。



5. RAIDマネージャーの削除は完了です。
【完了】をクリックしてください。

👉 ユーティリティを使わずにアンインストールすることも可能です。

【コントロールパネル】→【プログラム】→【プログラムとアンインストール】を開き、【RATOC SA3-RC2-SR RAID Manager】をダブルクリックし、【はい】をクリックしてください。